災害情報『豊橋ほっとメール』にご登録ください！！

９月議会の一般質問を通じて感じたことですが、災害時の情報伝達として、①市民がいつでも取りたい時に必要な情報が取れること。②市からリアルタイムに勧告発令・解除等の速報が発信されること。この２点が最も重要なのであって、つまるところそれは、①については『市のホームページ』であり、そして、②については『豊橋ほっとメール』であるように思います。

まず、①の『市のホームページ』については、災害時にアクセスが集中し、パンクしてしまう危険を回避するため、災害時には特別な簡素バージョンのホームページに切り替わることになりました。尚、市のホームページには携帯電話からでもアクセスできますので停電時には携帯電話を活用下さい。

また、②の『豊橋ほっとメール』は、予め携帯電話で登録しておくとリアルタイムで警報や勧告等の発令から解除まで、様々な災害速報が自動的に携帯電話へメールで送られて来る行政サービスです。

せっかく、良いシステムがあっても活用（登録）しなければ意味がありません。災害時には正確な情報こそ最大の武器です。簡単かつ無料ですので是非、『豊橋ほっとメール』にご登録下さい。

＜登録の方法＞ **tou@anzen-ansin.net**

上記のアドレスに、件名も本文も空白のままメールを送信いただくと、すぐに登録用のメールが返信されて来ますので、そのメールに従って、登録手続きを行って下さい（簡単です）。

※携帯電話に迷惑メール防止機能を設定している場合は、「anzen-ansin.net」を受信できるよう設定して下さい。

ちょっと聞きたい、自分たちの町の素朴な疑問。

Q：梅田川の水位が上昇し、氾濫の危険があると避難勧告が発令されました。でも、芦原校区の避難所は梅田川沿いの芦原校区市民館ですけど、大丈夫ですか？

A：芦原校区における災害時の第１指定避難所は芦原校区市民館になっていますが、梅田川の水位上昇による避難の場合は高師老人センターも同時に避難所として開設されるので、そちらへ避難下さい。尚、現在、市当局が全市的な避難所の適正度の見直し等、検討しているところです。

勧告等の危険度レベル。知ってますか？

勧告等は３段階の発令基準になっています。市は発令にあたって、発令に至った状況や避難所情報なども併せて広報することになっています。

危険度	勧告等	発令の目的
低	避難準備情報	高齢者等、避難に時間のかかる方に早めの避難を促す。
中	避難勧告	通常の避難ができる方に避難を促す。
高	避難指示	危険が切迫し、早急な避難を促す。

議会の録画中継がご覧いただけます。

議会見える化の一歩として、昨年度から一般質問のみですが、市議会のインターネット中継及び録画放送がご覧いただけるようになりました。

［豊橋市議会インターネット中継］［検索］

お　し　ら　せ

＜中村竜彦公式ホームページ＞

http://www.tatsuhiko.jp/

あなたの声をお聞かせ下さい。

FAX：0532－47－2648

豊流会は豊橋市議会（定数３６）のなかで、９名の保守系議員によって構成される政策グループ（議会会派）です。